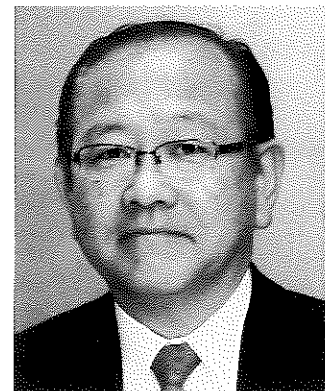


理 事 長 就 任 挨 拶

創造する力で 未来を拓く

公益財団法人 日本発明振興協会 理事長 笠原 文善



このたび、加藤忠郎理事長の後任として日本発明振興協会の理事長を拝命いたしました笠原文善でございます。伝統ある当協会において、このような重責を担うこととなり、大変光榮に存じるとともに、使命の重さを改めて実感しております。

当協会は、発明を通じて社会・産業の発展に寄与すべく、長年にわたり創造的活動の支援と知的財産権の啓発に努めてまいりました。特に中堅・中小企業の研究開発を促し、技術革新と事業化を支援するため「発明大賞」顕彰事業（日刊工業新聞社と共催）を行い、さらに、まだアイデア段階の技術を評価し、その研究開発資金を助成する「発明研究奨励金交付事業」にも取り組んでおります。また、未来を担う子供たちに、知的探究の楽しさと創造する喜びを届けるため、「こども発明教室」も開催してまいりました。私はこの尊い歩みを受け継ぎつつ、新たな時代に即した新たな挑戦に果敢に取り組んでまいり所存です。

なかでも、厳しい審査を経て選ばれた「発明大賞」受賞技術が実社会で活かされるよう、事業化・製品化を支援する体制の強化に力を注いでまいります。また、「理科嫌い、理科離れ」という言葉が生まれて久しいのですが、科学技術への関心の低下は、技術立国、ものづくりの国としては看過できない現象あると思っております。子どもたちの理科離れを解消し、科学やものづくりへの関心を高める教育的活動にも注力し、次代の発明人材の育成につなげてゆきたいと思っております。

アイデアが形となり、産業や地域社会に貢献する循環を生み出すことは、当協会の重要な使命であると確信しております。今後も、文部科学省・自治体などの公的機関・産業界・学术界・教育機関など多様な皆様との連携を図りながら、「創造する力で未来を拓く」活動に邁進してまいります。

これからも会長はじめ理事、評議員、会員の皆様のご協力を賜りながら、事務局の皆様と共に本協会のために誠心誠意努力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。